

# 他大学の授業を受講できる

大学コンソーシアム京都\*は約 50 の大学・短期大学から提供される特色ある科目を、自由に選んで受講できる単位互換制度を設けている。他大学の授業が学べる「仕組み」を大いに使おう！

© 京都府 まゆまる 15028



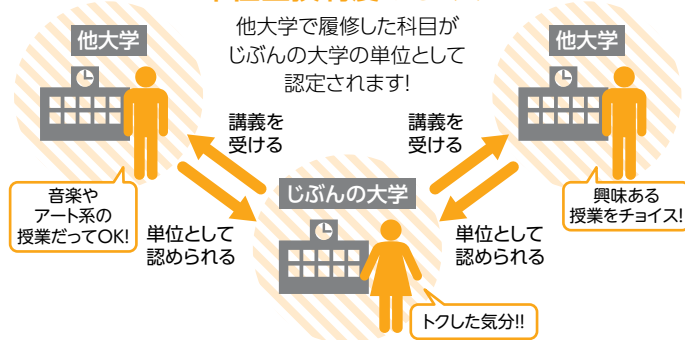
## 単位互換制度 他大学の授業を受講し、単位にできる魅力的な仕組み

自分の関心や興味に応じて、文化・芸術・政治・経済・自然科学など、さまざまな学問分野にわたるテーマから選べます。他大学のキャンパスの雰囲気も楽しみ、他大学の学生さんとも交流できるかも！？

### 科目のテーマによる分類 (2015 年度)

- 京都を探る
- ことばの魅力を知る
- 環境とくらしを考える
- 歴史と文化に触れる
- いのちと人間を考える
- 現代社会を知る・考える
- 美の世界に触れる
- 教育とは…何だろう
- 文学の世界に触れる
- 自然に学ぶ

### 単位互換制度のしくみ



### 新規開講!!

世界遺産が学びのフィールド!

#### ● 京都世界遺産 PBL 科目

「京都世界遺産 PBL 科目」では、他大学の学生と協力しながら、京都の世界遺産を舞台に授業に取り組みます。授業では、世界遺産の関係者へのインタビューや、世界遺産やその周辺地域の調査を通じて、各世界遺産が抱える課題を発見し、その解決策を提案します。

大学のまち「京都」、歴史のあるまち「京都」だからこそできる学びが、この科目に凝縮されています!

※ PBL: Project Based Learning の略で、能動的な課題解決・提案型学習を意味します。



京都世界遺産 PBL 科目の授業風景

# 他大学の学生と一緒に社会人を体験できる

他大学の学生さんと交流しながら、ビジネスマナーをはじめとする社会人としての必要なスキルを習得し、社会人への第一歩を踏み出すキッカケにしませんか？

## インターンシップ・プログラム ひと足先に“社会人”になれる

学生が一定期間、企業や行政機関などに就業体験する「インターンシップ」。これまでに大学コンソーシアム京都のプログラムには、約 8,100 名を超える学生と、延べ 4,500 を超える企業・行政機関等が参加し、15 年以上の豊富な経験と実績によるサポート体制を整えているため 1 回生から参加する学生もいます。現場で学び、自分自身の成長に繋げよう!

### コース紹介

- **ビジネス・パブリックコース (8 月中旬～9 月中旬)**  
企業や行政機関・非営利組織等にて、2 週間～1 ヶ月程度の実習を行うコースです。
- **プログレスコース (6 月～11 月)**  
受入れ先が提示したプロジェクトを、約 5 ヶ月間かけて実現するコースです。



株式会社ユメコム



東映株式会社 京都撮影所



株式会社川勝總本家

\*公益財団法人 大学コンソーシアム京都とは…  
大学コンソーシアム京都は、京都地域の大学、短期大学、行政など 50 を超える団体で構成される大学間連携組織。単位互換制度をはじめ、様々な事業を展開しています。

# 大学の垣根を越えた学生の交流がさかん

憧れのサークル活動も自大学だけではとどまらない。  
他大学の学生と交流しながら楽しみ、  
学ぶ機会が京都にはいっぱいある！  
今回は、そのほんの一部を紹介しよう。

学生祭典、映画祭の学生スタッフにそれぞれお伺いしました！

- Q1 大学に入る前はどんな高校生だった？
- Q2 学生祭典・映画祭と大学生活、両立するために努力した(している)部分は？
- Q3 (学生祭典・映画祭を経験して)自分が変化したと思う点は？
- Q4 これから自分が挑戦したい事(将来の夢など)※一言、二言で。

## 京都学生祭典

### 2015年10月本祭開催決定！！

<本祭開催日> 2015年10月11日(日) 平安神宮前・岡崎公園一帯

2014年は、40大学4大学院2短期大学3専修学校2海外大学総勢約500名の学生スタッフが参加。本祭の来場者は10万人を超え、都市をあげて学生がプロデュースする全国でも例をみない規模のお祭りだ。大学や学生の枠を超えて交流できることはもちろん、行政や企業、大学と連携した企画立案や協賛金獲得、広報活動に取り組むほか、2015年は国際化をテーマに異文化交流も行う。年間を通して行っている取り組みを通じて学生にとっての「学びと成長の場」になっている。

- Q1 小学校から始めた陸上競技を続けていて、毎日部活動に取り組んでいるスポーツ女子でした。
- Q2 自分で何でもやろうと思わないことです。全ての事を自分で出来るわけではないし、チームで活動しているので、自分で行わないといけない事以外は友達・仲間を頼ります。
- Q3 大人のひとと臆さず話せるようになりました。祭典の中でビジネスマナー等の研修を受け、実践し、様々な世代の方とお話することで知識の幅も広がりました。
- Q4 視野を広げ、国際的な視点も持ちながら様々な国籍の人と関わる仕事に挑戦したいです。



堀瀬奈央さん  
(京都女子大学 現代社会学部  
3回生)  
第13回京都学生祭典実行委員会  
実行委員長/岡山県出身(岡山県  
立岡山城東高等学校出身)



## 京都国際学生映画祭

### 学生が主体となって運営する 国内最大の国際学生映画祭

映画を通して、ジャンルや国籍、年齢を超えた交流の場になっており、国内外の学生から映像作品を募集・審査し、入選作品を上映するコンペティションプログラムを中心に活動している。昨年度は27ヶ国350本の作品が集まった。海外の学生作家との国際交流や相互理解の場を通じて価値観や視野を広げることができ、また実践的に外国語も活用するため、将来のステップアップにつながる。

- Q1 教室の隅で黙々と読書をするような大人しい高校生でした。映画をよく見るようになったのも高校時代から。
- Q2 毎月、双方の目標を大まかに決めて、自分の中での優先順位を明確にしていました。
- Q3 様々な人たちとコミュニケーションをとる機会が格段に増え、人前でも臆せず話せるようになりました。
- Q4 海外の映画祭を訪れたいですね！



大橋和史さん  
(佛光大学 社会福祉学部  
4回生)  
第17回京都国際学生映画  
祭実行委員会実行委員長/  
滋賀県出身(滋賀県立彦根  
東高等学校出身)



## 留学生との交流 京都で学ぶ学生同士の活発な国際交流

京都地域には世界各国から約7,500人の留学生が在籍しており(2014年度現在)、国際交流イベントが多数開催されているんだ。世界各国の学生と交流することにより、語学力の向上や、異文化を理解できる場があることは魅力の一つではないだろうか？



詳しくは「大学コンソーシアム京都」のホームページをご覧ください。